

国土交通省との共催 イベント

吉野川交流推進会議では、国土交通省との交流事業として、吉野川に親しんでもらうためのイベントを年間を通して実施しています。令和6年度は、すべての日程でお天気に恵まれ、イベントにもたくさんの方が参加し、にぎやかに開催することができました。

● 水難事故防止講習 ～川を知り、川で安全に楽しむために～

吉野川の良さを実感してもらうとともに、川を通じた交流を深めることを目的として7月～8月の間に開催している「交流体験inよしのがわ」の中で、徳島河川国道事務所は、**川で安全に楽しく遊ぶための「水難事故防止講習」**を実施しています。

川に入るときにの注意点などに関する座学や、正しいライフジャケットの着用方法、川に流されたときの行動などの実技講習を実施し、水難事故防止に関する正しい知識と心構えをお伝えしています。

● 実施の様子



川で安全に遊ぶための座学講習。川の危険な場所や安全に遊ぶための服装などをパネルを使って説明。暑い中、皆さん真剣に話を聞いてくれています。



スローバック※を使って、溺れている人を助ける練習。
※本来はスローバックを子供が使用するのは危険ですが、本講習では使い方を知ってもらうために、参加者全員に練習してもらっています。



川に流される練習中。コツは、力を抜いて流される方向を見ること。何度も練習して、皆さん上手になりました。

● 水生生物調査 ～吉野川の生き物を調べてみよう～

川の生物を調べることによって「水のきれいさ」を判定します。

「水生生物調査」と称されるこの調査方法は、水質を判定するための目安となる指標生物と言われる水生昆虫を調査し、水の汚れの程度を簡易的に判定するものです。令和6年は、徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター長の大原賢二先生、徳島県立博物館学芸員の外村俊輔先生をお迎えして、西条大橋上流（吉野川）、穴吹新橋下流（穴吹川）で調査を行い、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類等の指標生物を確認しました。



令和6年の実施報告

実施日	場所	参加者
7月30日(火)	西条大橋上流付近	4名
8月1日(木)	穴吹新橋下流付近	4名